

吉見町防災パンフレット

避難所位置図



吉見町防災パンフレットの発行にあたって

近年、国内では大規模地震が頻繁に発生し、多くの方が被害を受けています。地震は、前触れなく、いつ・どこで発生するか予想することはできません。

また、大規模地震が発生した場合は、その被害を最小限に食い止めるため、行政をはじめ、平素から地区ごとの自主防災力の向上に努めるとともに、皆様のご家庭でも、家具の転倒防止や食料・飲料水等の備蓄など日ごろの備えに努めていただき、皆さんと行政とが力を合わせてこそ、被害を最小限に抑えることができるといえます。

この「吉見町防災パンフレット」は、町民の皆さんの防災意識を高め、万一の災害に備えていただくために作成いたしました。

ご家族やご近所などで、地震、風水害に対する日頃の備えにご活用ください。

地震時と洪水時を判断し、身近な避難所に避難してください。

荒川などの洪水が予想される場合は、風水害用避難所へ早めに避難してください。

No.	施設名	所在地	電話番号	備考	
				地震	風水害
1	東第一小学校	東野 5 丁目 20-1	54-1510		
2	東公民館	蚊斗谷 132	54-4655		
3	東第二小学校	江和井 1555	54-1530		
4	荒川荘	大串 2843	54-4768		
5	東野ふれあいセンター	東野 5 丁目 15-7	54-9160		
6	南小学校	久保田 942-2	54-1504		
7	吉見中学校	下細谷 1	54-1525		
8	吉見町役場	下細谷 411	54-1511		
9	勤労福祉センター	下細谷 1210			
10	保健センター	下細谷 1212	54-3120		
11	農村センター(南公民館)	前河内 309-1	54-2317		
12	悠友館	下細谷 1213	53-0526		
13	吉見町福祉会館	下細谷 1216-1	54-5228(社協)		
14	西小学校	和名 50	54-1509		
15	西が丘小学校	南吉見 2074-3	54-7577		
16	西公民館	北吉見 2823	54-4545		
17	武道館	御所 187-1			
18	西部ふれあいセンター	北吉見 1717-1			
19	埋蔵文化財センター	北吉見 321	54-9111		
20	フレンドシップハウスよしみ	黒岩 602	54-2030		
21	北小学校	地頭方 441	54-1500		
22	北公民館	地頭方 532-1	54-4039		
23	町民体育館	中新井 493-1	54-5625		
24	海洋センター体育館	中新井 497			
25	農業構造改善センター	中新井 549			
26	吉見町民会館	中新井 508	53-1331		

風水害

避難準備情報・避難勧告・避難指示により避難を開始します。

自主避難

テレビなどの台風情報、気象警報の発表を避難情報として、住民の皆さんが自主的に判断して、風水害用の避難所等へ避難してください。

避難準備情報の伝達

大雨・洪水警報、河川水位情報等が発表され、町が住民の皆さんの事前に避難準備することが適切であると判断したときには、防災行政無線、広報車、行政区等を通じ、避難準備情報の呼びかけを行います。

地域住民の皆さんは、近隣の災害時要援護者の方へ配慮し声を掛け合い避難の準備をしてください。

避難勧告

大雨に伴う河川の氾濫が予想され、町が事前に避難を要すると判断したとき、防災行政無線、広報車、行政区等を通じ、避難のための立ち退きを勧め、避難所へ避難誘導を促します。

非常用持ち出し品を用意し避難してください。

避難指示

大雨に伴う河川の氾濫の危険が目前に切迫し、町が緊急に避難を要すると認めるとき、避難のための立ち退きと避難所への避難誘導を町の職員、行政区等が行います。

大規模地震

地震発生時にどうするか確認しておきましょう。

大きな地震が起きると、誰でも驚き平常心を失ってしまいます。あわてて外に飛び出したりするとかえって被害を大きくすることになりかねません。わが身や家族を守るため、冷静に状況を判断して行動することが肝心です。

まず、身の安全を
倒れやすい戸棚や本棚からすぐ離れ、丈夫なテーブルや机の下に身をかくす。

火の元確認
避難する前にもう一度、火の元を確認しましょう。

避難は徒歩で
決められた場所へできるだけ集団で避難。持ち物は最小限に。

安全な服装
長袖、長ズボンなどの安全な服を着用し、建物のそばを避けましょう。

階段から避難
避難時は、エレベーターを使わず階段から避難しましょう。

外へ逃げるときはあわてずに
あわてず、落ち漬いた行動を。逃げるときは、瓦やガラス・看板などの落下に注意。

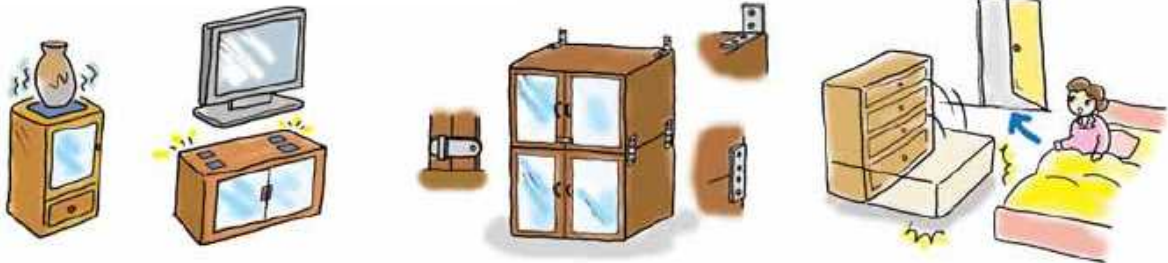
足もとに注意
電柱、ブロック塀、ガラス、切れた電線等に注意しましょう。

安否情報を知らせる
玄関などに避難先や安否情報を記したメモを貼っておきましょう。

地震による被害を防ぐためのポイント

■ 家の中の安全確認

- ・家具には、転倒防止金具を取り付けましょう。
- ・戸建住宅で2階建てなどの場合はできるだけ2階で寝る
- ・テレビや置物などには、すべり止めを取り付けましょう。 ようにしましょう。
- ・食器棚、本棚などは、とめ金具を取り付けましょう。
- ・部屋の入り口付近には物を置かないようにしましょう。



■ 家の周囲の安全確認

プロパンガス：ボンベをしっかり鎖で固定しておきましょう。

屋根：不安定なアンテナや屋根瓦は補強しておきましょう。

窓ガラス：飛散防止フィルムを貼りましょう。

ブロック塀：ブロック塀はしっかり点検補強しておきましょう。

ベランダ：植木鉢などの整理整頓をしましょう。

非常持ち出し品を備蓄しておきましょう。

大規模災害時、被災地に救援物資が届くまでには、おおむね3日かかると言われています。非常持ち出し品は、この間に必要なものを厳選し、一つにまとめてすぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。

非常用持ち出し品 チェックリスト

項目をチェックしてみましょう。

- 飲料水
- 非常食
- 貴重品
(預金通帳、印かん、現金等)
- 常備薬
- 懐中電灯 (予備電池・電球)
- 下着・上着
- 携帯ラジオ
予備電池・携帯電話
- タオル・洗面用具



非常持ち出し品は、夜間時の避難を前提に足下を照らす懐中電灯を始めとして替えの下着なども必要となります。過去の災害の教訓から、緊急な避難でない場合は、非常食(おにぎり1食分程度)を自分で用意する心が必要です。

お年寄りや小さな子どものいる家庭では

- 粉ミルク
- ほ乳びん
- 離乳食
- 流動食
- 紙おむつ



ペットのいる家庭は

- ケージ
- ペットフード
- ふん尿の始末用品



- 1 非常持ち出し袋は必ず備えるようにしましょう。
- 2 持ち出し品は、欲張ると避難の妨げになる場合があります。(目安: 男性 15kg、女性 10kg)
- 3 何を、どれくらい、誰が持つかなどを、家族全員で話し合しましょう。
- 4 持ち出し品は、一番目に『無ければ困るもの』です。常に身近においておきましょう。次に『あれば便利なもの』です。普段の生活の中に組み込んでおきましょう。
- 5 非常食や飲料水の備蓄は、家族全員3日分を備蓄しておきましょう。飲料水は一人1日3リットルが目安です。お年寄りや小さな子どもの食料なども用意しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル 171 の使用方法を確認しましょう。

震度6弱以上の地震発生時、被災地に向けての通話がつながりにくい状況になった場合、家族間や知人間などの、安否の確認連絡に活用できます。ご利用にあたっての事前契約などは、一切不要です。

録音

1 7 1 ▶ 1 ▶

音声による案内が流れます

(XXX) XXX-XXXXX ▶

伝言を入れる

(30秒以内)

被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルしてください。

再生

1 7 1 ▶ 2 ▶

(聞き方)

音声による案内が流れます

(XXX) XXX-XXXXX ▶

伝言を聞く

被災地の方は自宅の電話番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルしてください。

- ※ 利用可能な端末はNTTの一般電話、公衆電話、携帯電話、PHSです。
- ※ 録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての人が聞くことができます。
- ※ 暗証番号(任意の数字4桁)により、他人に聞かれない伝言など特定の方々の間での伝言録音・再生もできます。